

ボクシング部

専門部長 岸川美和子

専門委員長 森田隆宏

まず本年度4月から専門部長を、岸川美和子、白石高等学校校長に引き受けてもらい、コロナ禍の中、7月19日に開催された「SAGA2020 SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会」の企画・準備・運営等にご理解と御協力をいただき、無事成功裏に終えましたことにお礼の言葉を述べたいと思います。昨年度8月に新しくできた「SAGA サンライズパーク・ボクシング場」で令和元年度11月24日に実施した佐賀県高校新人大会と、今年度のSSP杯の二つの大会を終えることができました。これも佐賀県高体連をはじめ、佐賀県ボクシング連盟役員の方々や、各方面でサポートしてくださった皆様方のご協力のおかげだと深く感謝しております。関係各位に厚く御礼申し上げます。

茨城国体後スタートした新チームでは、国体で2位に入賞した、L級：宮原紳瑠（高志2年）と1年時に全国総体ベスト8になった、LW級：宮原悠瑠（高志2年）の双子の兄弟の活躍が目立っていた。県の新人大会でも抜きん出たレベルで優勝し、九州新人大会でもそろって優勝し、全国選抜への出場を決めていた。しかしコロナの影響で大会が中止となり、続けて九州総体・全国総体・九州ブロック・国体も中止となり、活躍が期待されていただけに非常に残念であった。

ここ数年、全国レベルで活躍してくれている選手達を垣間見れば、宮原兄弟のように小中学校からボクシング競技を始めている選手が多く、高校からスタートする選手が、レベル的になかなか追いつけない状況にあるのが特徴である。ただでさえ競技人口が少ない競技でもあり、少子化が進む現代の世の中で、今後の専門部の課題としては、ジュニアからの選手は勿論だが、高校から競技を始める選手を、いかに大事に育てて成長させ、県大会参加校・参加人数を増やし、レベルを上げ盛り上げていくことが責務と感じる。

◎令和元年度 佐賀県高校新人大会

令和元年11月24日（日）

SAGAサンライズパークボクシング場

<個人>

1位

ピン級	古川 竜輝（高志）
ライトフライ級	北島 幸生（高志）
フライ級	エントリーなし
バンタム級	原口 陽（高志）
ライト級	宮原 紳瑠（高志）
ライトウェルター級	宮原 悠瑠（高志）

2位

ライトフライ級	久原 達喜（白石）
ライト級	三原 大輝（北稜）
ライトウェルター	米須 仁志（唐西）

<団体>

優勝：高志館高等学校	33点
2位：白石高等学校	3点
2位：北稜高等学校	3点
2位：唐西高等学校	3点

参加校	4校
参加人数	8名

◎令和元年度 全九州高校新人ボクシング競技会
令和2年1月17日～19日
大分県昭和電工武道スポーツセンター

ピン級

古川 竜輝 (高志) 1回戦敗退

ライトフライ級

北島 幸生 (高志) 1回戦敗退

フライ級

久原 達喜 (白石) 1回戦敗退

バンタム級

原口 陽 (高志) 1回戦敗退

ライト級

宮原 紳瑠 (高志) 優勝

ライトウェルター級

宮原 悠瑠 (高志) 優勝

◎SAGA2020

SSP杯 佐賀県高等学校スポーツ大会

令和2年7月19日 (日)

SAGAサンライズパークボクシング場

<個人>1位

ピン級 古川 竜輝 (高志)

ライトフライ級 北島 幸生 (高志)

フライ級 神代 甚 (高志)

バンタム級 原口 陽 (高志)

ライト級 宮原 紳瑠 (高志)

ライトウェルター級 宮原 悠瑠 (高志)

ウェルター級 堀田 陸志 (白石)

ミドル級 藤崎 友佑心 (高志)

2位

フライ級 久原 達喜 (白石)

バンタム級 三原 大輝 (北稜)

ライトウェルター 古賀 逸希 (高志)

<団体>

優勝: 高志館高等学校 41点

準優勝: 白石高校 8点

3位: 北稜高等学校 3点

参加校 3校

参加人数 11名